

# 「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

棟朝 雅晴<sup>1,a)</sup>

おかげさまで、論文誌トランザクション「数理モデル化と応用 (TOM)」の発行回数が、本号をもちまして60回となりました。本論文誌へのご投稿、論文編集のご担当ならびに査読をいただきました皆様に深く御礼申し上げます。

本トランザクションでは、数理モデル化と問題解決 (MPS) 研究会においてご講演をいただき、その場での議論もふまえて、研究会と同時開催の編集委員会で審議のうえ、査読結果をお伝えしています。今号では、2021年10月までに採録と判定されたオリジナル論文3編を収録しています。担当編集委員は、加藤 毅、西野哲朗、棟朝雅晴 (敬称略) となっています。

研究会の開催については、コロナウイルスの感染拡大にともない引き続きオンラインでの開催となっております。今後の状況も確認しつつ、対面での研究会開催について模索して参りたいと存じますので、引き続き多数のご参加ならびにご投稿をお待ちしています。

TOMに掲載される論文はコンピュータサイエンスの境界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように多くの編集委員を必要としています。これまで慢性的に編集委員が不足している状態です。TOMでは編集委員を常時募集していますので、自薦・他薦を問わず興味のある方はぜひご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。なお、論文誌の定期購読制度もありますので、ぜひ、こちらもご利用ください。また、研究会開催記録、研究会登録案内、投稿案内などに関する最新の情報はすべてウェブページ上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ (<http://www.ipsj.or.jp/sig/mps/>) よりたどることができますので、MPS研究会および論文誌TOMに関しては、そちらをご参照くださいますよう、お願い申し上げます。

---

<sup>1</sup> 北海道大学  
Hokkaido University, Sapporo, Hokkaido 060-0811, Japan

<sup>a)</sup> [munetomo@iic.hokudai.ac.jp](mailto:munetomo@iic.hokudai.ac.jp)